



2025年度7月号

社会福祉法人 尚徳福祉会
生麦保育園

日ごとに蒸し暑さが増し、熱中症が心配な季節になりました。梅雨の合間には戸外に出てあそぶこともあります。木陰に行って休息を取り水分補給をおこない、こまめに汗を拭いたり、シャワーをしたりしながら元気にすごせるように工夫していきます。

7月からはプールあそびが始まります。幼児になり初めての経験ですが、体調を整え、夏ならではのダイナミックなあそびも楽しんでいきたいと思っています。

春の園外保育…貝の浜公園に行ってきました



前日よりにこにこまんグループで園外保育に行くことをとても楽しみにしていて、当日は水筒を荷物掛けに掛けるとワクワクしている様子が見られました。行きはにこにこまんグループのぞう組のお兄さんお姉さんと手を繋いで歩き、帰りはうさぎ組同士で手を繋ぎ園まで戻りました。公園では、にこにこまんグループ対抗のリレーをしましたが、『がんばれー！』と大きな声で応援したり、みんなと協力して走ったりする姿が見られ、大盛り上がりでした。そして…お楽しみにしていたお弁当は、園庭で食べる予定でしたが、日差しが強く暑かったので保育室内でと変更。ブルーシートを敷いて、いつもと違った雰囲気の中で嬉しそうにパクパクと食べて、満足そうな表情でした。当日は水筒の準備をありがとうございました。

♪おいしかったね♪

子どもたちが毎日、朝夕に水やりをして、草が伸びてくると草取りをして、花が咲き日に日に大きくなるのを楽しみにして。。。大切に育ててきた、きゅうりが実りました。収穫をするときには「うわぁー」「すごい」「おおきいー」。触ってみて「ぶつぶつしてる」「ちょっと、いたい」。においをかいで「いーにおい」「おいしそう」という声が聞こえてきて、自分たちで育てて実ったことの喜びを感じているのがとても伝わりました。みんなで宝物のように持って調理室に運び、給食の先生に渡しました。そして、食事の時に出てくると目をキラキラと輝かせて「たべてみるね」「おいしい」。いつもなら野菜は苦手と話している子も「たべてみる」と口にしてみる姿がありました。採れたて新鮮なきゅうりは火を通して、みずみずしく本当に美味しかったです。これからも、きゅうりの生長を見守り、味わっていききたいと思っています。



～どろんこあそび～

幼児クラスになり初めての泥んこあそびでした。雨上がりの園庭で「どろんこあそびをしよう」と保育者が声をかけると…「やったー！」と嬉しそうに外に行く準備を始めていました。始めは水の溜まったところに、そーっと足を入れていましたが、ジャンプをしたり、じゃぶじゃぶと足踏みをしたりと泥の感触を味わっていました。水たまりの中に全身で入り「おんせん」。流れる水を見て「かわ」と言っていました。想像力が豊かです☆

制作

幼児クラスは、自分だけのクレヨンと自由画帳があり、ロッカーの引き出しに入っています。好きなときに出して使っています。クレヨンは16色ありとても嬉しそうに手に取り、「ダンゴムシ」「やきいも」「ハート」「でんしゃ」と思い思いの絵を描いています。

粘土遊びも大人気です。大きなかたまりを持ち上げ「おもたいね」。小さくちぎって丸めて「おだんご」。細く伸ばして「へび」。へびを丸く繋げて「ドーナツ」。へびの端からグルグルと丸めていき「カタツムリ」と、いろいろと創造力を広げて楽しんでいます。

好きな色の画用紙から織姫と彦星の服を選び七夕飾りを作りました。細い千代紙をちぎり、指のりを使って飾りを貼りました。紙をちぎるのに力を入れすぎてしまったり、のりを指につけすぎてしまったりベタベタになってしまったりしましたが、指先をよく使い素敵な作品となりました。

